



# 協働のススメ

企業が取り組むCSRとNPOの活動分野は非常に近い？

まちづくり、地域福祉、子育て支援、環境保全など、企業とNPO等\*がコラボして、

それぞれの強みを生かした活動をしてみませんか？

\*NPOだけでなく地域で活動している団体も含まれます

# 企業もNPOも地域も元気になる協働のコツ

NPO 法人パートナーシップ・サポートセンター\* 代表理事 岸田 眞代

\*パートナーシップ・サポートセンター(PSC)は、1998年7月に設立された、NPOと企業の協働を推進する中間支援のNPOです。

## 1 「企業とNPO」の協働を推進してきたパートナーシップ・サポートセンター

私たちパートナーシップ・サポートセンター(PSC)は、設立以来15年余に渡ってさまざまな事業を展開してきました。が、それは試行錯誤の連続だったと言っても過言ではありません。

「NPOと企業の協働」をミッションに掲げた全国初のNPOとして、壁にぶつかりながら、一つずつそれを乗り越えてきました。

NPOの理解と協働できる人材の養成(下図①)に、設立当初から意図していた「パートナーシップ大賞」(下図②)は、さまざまな地域や社会の課題を解決していくために、企業とNPOそれぞれが協働してよりよい社会にしていけることを目的に創設したのですが、当初は「自主的な活動に甲乙を付けるのか」と、企業からもNPOからも理解を得られず、4年目にようやく実現しました。

しかし、始めてみるとこの事業の意義の大きさはすぐに分かりました。関係者や周りの人をハッピーにしたり、地域や社会が変わっていくのです。2013年には記念すべき「第10回」を無事終えることができました。↑



この事業を通じて、企業には「いい企業」の新たな評価基準を提示し、NPOと協働をしている企業は地域や社会を大切にする企業であり、その会社で働く従業員にとっても自社に誇りがもてることをめざしています。

またNPOにとっても、自分たちだけではなし得ない一回り大きな活動が可能になり、社会的認知や寄与にもつながり、企業と協働するなかで、組織的な見直しをすることにもつながります。それは、市民活動全体の底上げにもつながる相乗効果を生み出していきます。

ここでは詳しく紹介できませんが、その後、協働推進に立ちはだかる壁を乗り越えるために、左図の③、④、⑤と、その都度新たな事業を展開してきたのです。パートナーシップ・サポートセンターの歴史は、こうした「企業とNPOの協働推進」の歴史でもあるのです。

## 2 CSR推進はNPOとともに〜こんなに近いCSRとNPOの活動

私たちはこれまで、NPOと企業が協働すれば、NPOにとっても企業にとってもプラスになることをさまざまに証明してきました。

図のように、ISO26000の「7つの中核主題」として挙げられている、「人権」「労働慣行」「環境」「公正な事業慣行」「消費者課題」「コミュニティへの参画およびコミュニティの発展」、そしてそれらを包含する「組織統治」は、すべてNPOの活動分野と重なってくるとしても過言ではありません。

例えば、「人権」では、自由や生存の権利、法の下での平等、労働権、教育や社会保障を受ける権利などを尊重することは、NPOの活動分野で言えば、障害者や高齢者、海外における児童労働などの問題につながります。「環境」問題はNPOの活動が活発な分野でもあり、「環境の保全を図る活動」として、生物多様性や気候変動、エネルギー問題まで、極めて広範囲にさまざまな取り組みがなされているのはご存じのとおりです。「コミュニティへの参画およびコミュニティの発展」というのは、「持続可能な発展に不可欠な要素」と位置付けられ

## 協働事例 1

## 大和リース(株) × (認定特) コミュニティー・サポートセンター

### まちづくりスポット神戸

まちづくりスポット神戸は、2013年12月6日にオープンしたショッピングモール「BRANCH 神戸学園都市」の中に開設され、地域で暮らす方々の地域のための活動をサポートすることを目的とし、大和リース株式会社と認定特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸(CS神戸)が協働で運営しています。

東灘に拠点をおくCS神戸にとって距離的な問題もありましたが、CS神戸のミッションに沿った事業であること、最終的には現地で「まちづくりスポット神戸事業」を移管できるようなNPOを育てるという中間支援組織として果たすべき役割を担う事業であること、企業とNPOが課題を共有し、知恵を出し合いながら新しい価値づくりを行うCSV(Creating Shared Value / 共通価値の創出)事業であることなどの理由からこの事業に取り組むことになりました。

### 強み・弱みを補える関係

企業と協働することにより、企業の資金や信用力という強みとNPOの人材やノウハウ、情報、ネットワークなどの強み両方を生かすことができ、また弱い部分も補い合えるというのが最大のメリットなのではないかと考えます。

### 地域の魅力を引き出す場づくり

まちづくりスポット神戸は、地域コミュニティの活性化、講座開催による人材育成、大学・テナント会との連携を介した新たなつながりづくりなど行政枠に囚われず、多世代が集う様々な活動がここを拠点に生まれていく場にしたいと思っています。

そして企業とともに知恵を出し合い、「暮らし続けたい魅力あるまち」をめざす地域活動の後押しを続けていきます。



(CS神戸 プロジェクトスタッフ 向山 良子さん)

■BRANCH 神戸 買い物だけでなく、地域コミュニティを生み出し、育むコミュニティ発信基地をめざし、2013年12月に神戸市垂水区小東山手にオープンしたコミュニティ型複合商業施設

ており、その背景は「そのコミュニティと共通の利害を共有している」という認識から生まれるべきだとしているのです。まさに地域で活動しているNPO抜きには考えられません。

このように、CSRとして取り組むべき分野それぞれに専門的なNPO団体が存在しており、企業は、NPOの活動を視野に入れれば、より豊かに専門的にCSRを進めることができるのです。企業はもちろんですが、NPO自身ももっとこの点に注目すべきではないかと思えます。

### CSRとNPOの活動はこんなに近い!!

- 〈企業のCSRの取り組み例〉
- 人権
    - 障がい者・高齢者・外国人
    - 海外における児童労働・強制労働 etc.
  - 労働慣行
    - 女性・交渉権・福利厚生・WLバランス (家族)・労働組合・内部告発 etc.
  - 環境
    - 自然保護・生物多様性・気候変動 (CO<sub>2</sub>) etc.
  - 公正な事業慣行
    - 公正な取引・サービスの適確性 etc.
  - 消費者課題
    - 製品の安全性 etc.
  - 地域・社会(コミュニティへの参画)
    - 防災・防犯・教育(子育て～ニート)・健康・文化 etc.
- 
- 組織統治  
法令遵守+企業統治  
(リスクマネジメント)

企業は企業市民として何をなすべきか  
NPOはCSRにどう関わるべきか  
★CSR推進=NPOの役割

- 〈NPOの活動分野〉
- ①保健、医療又は福祉の増殖を図る活動
  - ②社会教育の推進を図る活動
  - ③まちづくりの推進を図る活動
  - ④観光の振興を図る活動
  - ⑤農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動
  - ⑥学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
  - ⑦環境の保全を図る活動
  - ⑧災害救援活動
  - ⑨地域安全活動
  - ⑩人権の擁護又は平和の推進を図る活動
  - ⑪国際協力の活動
  - ⑫男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
  - ⑬子どもの健全育成を図る活動
  - ⑭情報化社会の発展を図る活動
  - ⑮科学技術の振興を図る活動
  - ⑯経済活動の活性化を図る活動
  - ⑰職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
  - ⑱消費者の保護を図る活動
  - ⑲前各号に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動
  - ⑳前各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動 (その他様々な市民活動)

岸田眞代:2012 改訂版

3つめは、私が「身近なCSR」と呼んでいるもので、地域社会に生じているさまざまな課題～例えば、犯罪の増加、ニートや不登校、児童虐待、環境破壊、災害…等々に関心を持ち、これまでNPOが行ってきた活動に企業が参画し、ともに展開していくというパターンです。

まさに、「コミュニティへの参画およびコミュニティの発展」に通じるものです。まさにNPOの出番です。

4つめは、社会的責任というよりは企業そのものの責任、といった方がいいもので、いわゆる「本業」や事業活動に関わるものです。企業が責任を持つべき最大のもので、製品やサービスそのものが「持続可能」でなければなりません。実は最近では、この分野でのNPOとの協働が大幅に増えています。本業ですから、企業も真剣になりますし、継続性も高いのです。専門性を活かせるチャンスでもあります。大いに注目しましょう。

最後は、「広域のCSR」で、グローバル企業に求められる視点です。多国籍企業にとってはここができて初めて世界に認められ、尊敬される条件となります。気候変動や生物多様性、海外の貧困、児童労働など、これらの分野では日本国内だけでは分からない様々な課題に対して、国際協力のNPO(NGO)が大いに活躍できる分野です。

こうしてみると、企業のCSR活動のすべての分野でNPOとの協働が可能であることがわかります。それを図中に楕円で示しています。どんなNPOでも、どんな小さな企業でも協働は可能なのです。

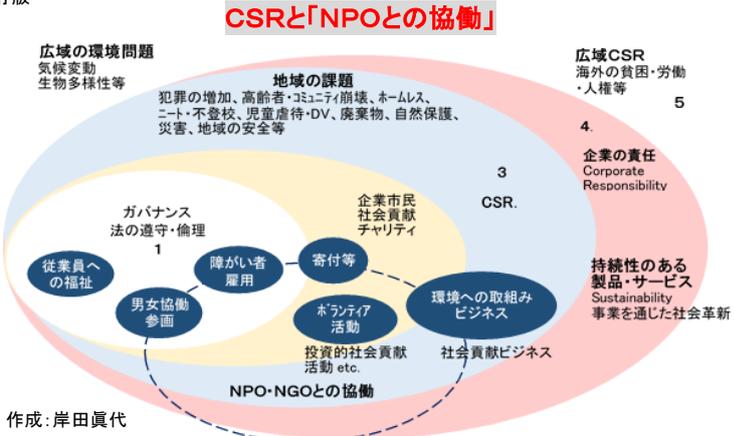
NPO 法人パートナーシップ・サポートセンター <http://www.psc.or.jp/>  
事例は [http://www.psc.or.jp/02\\_1.html](http://www.psc.or.jp/02_1.html) でご覧ください。

### 3 CSRとNPO～CSRからみた「5つの協働パターン(類型)」

では協働のパターンには、どんなものがあるのでしょうか。

1つは、法の遵守や倫理面から、企業の「ガバナンス(企業統治)」そのものに関わる協働です。事業活動を行う施設・設備等が地域に与える影響への責任をもつのは当然のことで、そこに住むNPOもぜひ関心を持ちたいものです。

2つめは、企業がその地域に存在する証としての「企業市民」や「社会貢献」の活動で、NPOと協働することで、より有効な活動になり得るものです。企業による寄附や道路清掃などのボランティア活動もここに含まれますが、NPOから積極的に働きかけることも大いに可能です。↑



## 協働事例 2 神姫バス(株)×(特)生涯学習サポート兵庫

### あそびを通じた体験学習の提供

特定非営利法人生涯学習サポート兵庫 (SHOSAPO) は、「“あそびのチカラ”を通じ、人と繋がることの大切さを子どもたちに伝える」ことを目的に、8年前から子どもを対象とした体験学習「つよく大きくなる旅 ロビンクラブ」を神姫バス株式会社と協働しています。夏はいえしま自然センターや西はりま天文台でのキャンプ、冬はばんしゅう戸倉スノーパーク等でのスキーを、学生リーダーとともに「あそび」を取り入れたプログラムで実施しています。

やはり旅行会社が募集しているということから、保護者にとっては、レジャー感覚で子どもに参加させやすいようです。キャンプに親しみなかつた、いわばキャンプ初心者の子どものにも多く参加してもらっていますし、少しハードルの高い野外活動に「あそび」感覚を取り入れているため、参加した子どもにとって「楽しく」「また参加したい」と満足感のある思い出づくりの場を提供できているように思います。

### Win-Win の関係

企業と協働することによって、「旅」に欠かせない、宿泊施設や保険等の手続きを任せられることができるので、私たち SHOSAPO はプログラムの企画立案に専念できます。また、「ロビンクラブ」を通じて、野外活動の面白さに目覚めた子どもたちが、SHOSAPO 独自の企画にどんどん参加してくれます。

その反面、企業側にも満足してもらうためには、参加者やリピーターを増やすための魅力的な企画をつくり続ける必要があります。

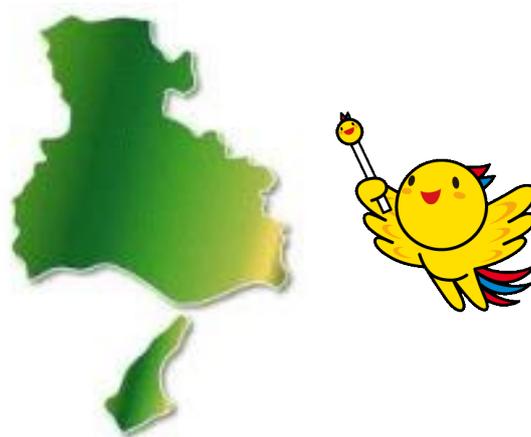
Win-Win の関係、双方が満足する関係であるからこそ、8年も続いているのかもしれない。(生涯学習サポート兵庫 あそびクリエイター 菅野 将志 さん)



## 「ひょうご中間支援団体ネットワーク」参加団体へ

地域	団体名	連絡先
神戸	(認定特) コミュニティ・サポートセンター神戸	〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町5-2-2 ヒューター住吉館104 Tel.078-841-0387
	(認定特) 市民活動センター神戸	〒650-0022 神戸市中央区元町通 6-7-9 秋毎ビル 3F Tel.078-367-3336
	(特)しゃらく	〒654-0055 神戸市須磨区須磨浦通4-4-6 須磨浦ビル204号室 Tel.078-735-0163
	(特) 神戸まちづくり研究所	〒651-0076 神戸市中央区吾妻通 4-1-6 コミスタこうべ Tel.078-230-8511
	(特) ひょうご・まち・くらし研究所	〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-2-19 コフォ神戸元町2F Tel.078-351-5511
	(特) しみん基金・KOBÉ	〒651-0095 神戸市中央区旭通 1-1-1-203 (サンピア 2F) Tel.078-230-9774
阪神南	(公財) ひょうごコミュニティ財団	〒650-0022 神戸市中央区元町通 6-7-9 秋毎ビル 3F Tel.078-380-3400
	(特)シンフォニー	〒660-0861 尼崎市御園町 5 尼崎土井ビルディング 2F Tel.06-6412-8025
	(特) コミュニティ事業支援ネット	〒662-0854 西宮市樫塚町 2-20 西宮商工会館本館 3F Tel.0798-23-3738
	(特) にしのみや NPO 協会	〒663-8204 西宮市高松町 20-20 Tel.0798-65-2251
阪神北	(特) あしやNPOセンター	〒659-0065 芦屋市公光町 5-8 0797-26-6452
	(特) 阪神・智頭NPOセンター	〒664-0858 伊丹市西台 1-1-1 伊丹阪急ビルリータ 3F 伊丹市立市民まちづくりプラザ内 Tel.072-780-1234
	(認定特) 宝塚NPOセンター	〒665-0845 宝塚市栄町 2-1-1 ソリオ 1-3F Tel.0797-85-7766
	NPO 会計支援センター	〒665-0831 宝塚市米谷 2-2-39-203 Tel.090-8162-5543
	(特) 市民事務局かわにし	〒666-0015 川西市小花 1-8-1-104 Tel.072-774-7333
	(公財)神戸YMCA	〒669-1528 三田市駅前町 2-1 キッピーモール 6F Tel.079-559-5168
(特) 場とつながりの研究センター	〒669-1533 三田市三田町 29-14 Tel.079-553-2521	

地域	団体名	連絡先
東・北播磨	(特) こうべユースネット	〒673-0891 明石市大明石町 1-13-36 白菊センタービル 3F Tel.078-915-0075
	(一財) 明石コミュニティ創造協会	〒673-0886 明石市東仲ノ町 6-1 アスピア明石北館 7F Tel.078-918-5606
	(特)シミズシーズ	〒675-8566 加古川市加古川町寺家町天神木 97-1 東播磨生活創造センター「かこむ」内 Tel.079-421-1136
	(特) 北播磨市民活動支援センター	〒675-1366 小野市中島町 72小野市うるおい交流館エクラ内 Tel.0794-63-8156
中・西播磨	(認定特)コムサロン 21	〒670-0932 姫路市下寺町 43 姫路商工会議所新館 4F Tel.079-224-8803
	姫路市市民活動・ボランティアサポートセンター	〒670-0015 姫路市総社本町 112 姫路市市民会館内 Tel.079-281-2660
	(特)ひと・まち・あーと	〒679-4165 たつの市龍野町日山 437 Tel.0791-63-5001
但馬	(特) コミュニティアートセンター ブラッツ	〒668-0031 豊岡市大手町 4-5 アイティ 7F豊岡市民プラザ内 Tel.0796-34-6078
丹波	(一社)ノオト	〒669-2321 篠山市黒岡 191 篠山市民プラザ内 Tel.079-552-0001
淡路	(特) ソーシャルデザインセンター 淡路	〒656-0456 南あわじ市神代地頭方 1538-1 Tel.0799-42-0399



- 出会いを求めるNPO等の情報を紹介しています！  
「ひょうご・企業とNPOのパートナーシップ」  
<http://www.hyogo-vplaza.jp/partnership/index.html>
- 県内の社会貢献企業を紹介しています！  
「地域とともにあゆむひょうごの企業」  
<http://www.hyogo-intercampus.ne.jp/gallery/v-hyogo/csr/>

～このリーフレットに関するお問い合わせは～

■ 社会福祉法人兵庫県社会福祉協議会 ひょうごボランティアプラザ

650-0044 神戸市中央区東川崎町 1-1-3 神戸クリスタルタワー6階

Tel.(078)360-8845/FAX(078)360-8848 <http://www.hyogo-vplaza.jp/>

兵庫県企画県民部県民文化局協働推進室

650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1

Tel.(078)362-3996 FAX(078)366-0167